

都市再生整備計画 フォローアップ報告書

沼田市中心市街地地区

平成28年7月

群馬県沼田市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	休日歩行者数	人/日	648	700	370	確定 ● 見込み	×	あり ● なし	428	H28年5月	×	・大型商業ビル閉鎖による、歩行者絶対数の減少。 ・地区内商店街での購買意欲減衰。 <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	・これまで歩行者数を増加させる施策では、核的施設の集客力頼みといった、外的要因に依存していた傾向が強かった。よって今後は、商店街や地域そのものの魅力に基づく、集客力(歩行者数)の増強と、購買意欲の上昇を目指すものとする。	
指標2	イベント開催数	日/年	25	25	28	確定 ● 見込み	○	あり なし	-	-	-	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	-
指標3	住宅・店舗数	戸	30	30	34	確定 ● 見込み	○	あり なし	-	-	-	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	-
指標5														

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1												<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2												<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3												<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> 成果を持続させるために 行う方策 	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地のにぎわいの復活 	<ul style="list-style-type: none"> 沼田市グリーンベル21構想委員会にて、当該施設の利活用を検討した。(平成27年10月) 	<ul style="list-style-type: none"> グリーンベル21を「減築」したうえで、市役所機能や商業業務、福祉の諸機能を移転する計画が策定され、平成31年年度の完成を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 行政サービス利用者の増加が、中心市街地への歩行者回帰に貢献できるのが課題である。
		<ul style="list-style-type: none"> 区画整理事業の進展に伴う、既存建築物の移転や除却。 	<ul style="list-style-type: none"> これまで老朽化していた商店が、事業の移転と合わせ、新しいまちの顔ともなりうる、魅力ある個性的な建築物に建て替えられた事例が見受けられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 同様の事例がさらに増え、商店「街」として線的で魅力ある景観が形成されるかが課題である。 区内店舗の更新にとどまらず、チャレンジ精神を持った外部からの転入店舗の出現が期待される。
<ul style="list-style-type: none"> 改善策 まちづくりの目標を達成するための改善策 残された課題・新たな課題への対応策 その他 必要な改善策 	<ul style="list-style-type: none"> 都市基盤施設の整備促進 	<ul style="list-style-type: none"> 区画整理事業についての地域との意見交換。 	<ul style="list-style-type: none"> 地権者の理解と協力の度合いが進んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域主体でまちづくり体制が構築され、事業促進に向けた協力が得られることが望ましい。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> 区画整理事業のロードマップづくり 	<ul style="list-style-type: none"> 限られた予算の中で、より早く、より合理的に進められる方法やスケジュールをまとめた事業方針(ロードマップ)を策定し、1年でも早い事業終結を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度以降 	<ul style="list-style-type: none"> 地域との意見交換を進め、権利者と連携した事業内容の見直しや、加速度的な進展が図れるかが課題と思われる。 沼田市行政施策の中で、本地区への集中した予算投入が可能となるよう、事業進展に向けての合理的かつ適切性を持った説明が必要となる。
<ul style="list-style-type: none"> 集客力をもった魅力ある商店街の創出 	<ul style="list-style-type: none"> 魅力ある個性的商店の出現を単発で終わらせることなく、通りとしての景観形成が可能となるよう、景観配慮型の地区計画を策定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度以降 	<ul style="list-style-type: none"> 景観形成に関しては、個店主を中心とした地域への啓もうが最も重要となるが、具体的な店舗の建築にあたっては、区画整理事業の移転補償費に伴う、行政からの支援施策検討が必要となる。